


報道発表資料の配付日時 1月26日(金) 10時00分

発表項目 (行事名)	「環境道民会議フォーラム2024～世界のトレンド？知っておきたい！サーキュラーエコノミー（循環経済）」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2月13日にサーキュラーエコノミーをテーマとしたフォーラムを開催 ○ 環境省北海道地方環境事務所のほか、ファッションロス・フードロス削減の取組を行っている団体から講演をいただく <p>記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日時：令和6年（2024年）2月13日（火）15時30分～17時30分 2 場所：北海道立道民活動センター（かでの2. 7）大会議室 （札幌市中央区北2条西7丁目） ※ZOOMによるオンライン開催併用 3 内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 講演 <ul style="list-style-type: none"> ・循環経済への移行に向けた取組 環境省北海道地方環境事務所 資源循環課 課長補佐 河邊 祐二（かわべ ゆうじ）氏 ・桑園SDGs環境ひろばの取組～制服リユース・着物リユース～ 特定非営利活動法人環境り・ふれんず 代表理事 石塚 祐江（いしづか さちえ）氏 ・にこにこ子ども食堂が取り組むフードバンク活動について 一般財団法人北海道国際交流センター プログラムディレクター 吉村 美悠（よしむら みゆう）氏 (2) パネルディスカッション コーディネーター 循環（くるくる）ネットワーク北海道 代表 星野 武治（ほしの たけはる）氏 パネラー 上記講演者3名（変更の可能性あり） 4 申込方法 別添チラシ裏面の参加申込書に必要事項（所属・氏名・年齢・連絡先・参加方法（会場又はオンライン）、質問事項（任意））を記載の上、メール送付又は別添チラシ裏面に記載のQRコードを読み取り申込フォームから必要事項を入力のうえお申し込みください。 メール申込先：kansei.kankyoku1@pref.hokkaido.lg.jp （定員は会場50名、オンライン50名を予定（先着順）） 5 申込期限：2月6日（火） <p>※環境道民会議…道民・事業者・行政が連携し、環境保全活動を進めるため、経済団体やNPO団体、道など計65団体で構成（団体名一覧は別紙をご覧ください。）</p>		
参考	道のホームページ https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/kyouiku/wintermeeting.html		
報道（取材） に当たって のお願い	オンライン（ZOOM）でも視聴（取材）が可能となっておりますので、ご希望の方は2月7日（水）までに上記メールアドレスへその旨連絡ください。お申し込みいただいた方に対し、視聴用のURLを送付します。開催にあたって広く参加者を募集したいため、積極的な告知・取材をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	環境生活部環境保全局環境政策課企画調整係（担当者：課長補佐 池谷） TEL ダイヤルイン 011-204-5187 内線 24-204 公用スマホ 011-585-6103 内線 24003		

環境道民会議の概要

【趣旨・目的】

北海道の良好な環境を保全し、快適な環境を維持・創造することにより、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な環境重視型の社会をつくることをめざして、道民、事業者及び行政が相互の連携の下で、環境保全活動を積極的に推進するため、平成10年9月に「環境道民会議」を設置した。

【構成】

様々な事業者団体や民間活動団体、住民団体、行政など（参加団体は65団体）

【活動】

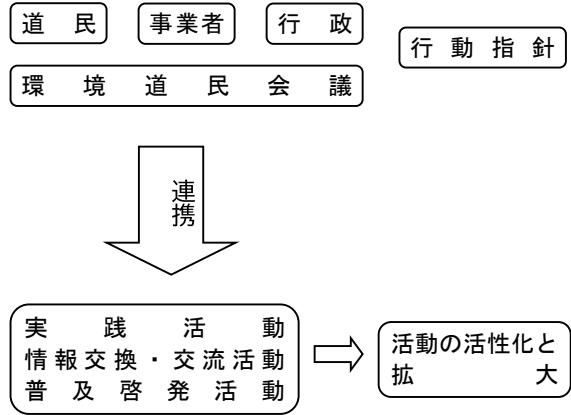
○ 活動の方向

「行動指針」

（活動の方向性）

○ 活動内容

- ① 各参加団体による活動の実践
- ② 実践活動に係る情報交換・交流
- ③ 活動情報誌等の発行
- ④ 普及啓発事業の実施



環境行動宣言

さわやかな空、清らかな水、みどりあふれる大地、そこに息づく様々な生命の輝き
私たちは、北海道の豊かな自然の恵みを受けながら生活を営み、北国の風土を生かした個性ある文化を育んできました。

私たちは、このかけがえのない北海道の環境を、道民みんなで手を携えながら、より良いものへと発展させ、次の世代に引き継いでいかななくてはなりません。

今日の環境問題は、廃棄物の処理や地球温暖化などに見られるように、私たちの日常の生活の様々な活動と関連しており、これらを解決するためには、一人ひとりが、できることから行動を起こすことがとても大切です。

私たち環境道民会議は、様々な立場から積極的に環境保全活動に取り組むとともに、情報交換や交流を通して連携し、活発な活動の輪を大きく広げ、より良い環境を未来に引く継ぐ環境重視型の社会～環境にやさしい北海道～を目指して行動することを宣言します。

平成10年9月5日 環境道民会議

行動指針

私たちは、このかけがえのない北海道の環境をしっかりと守り、より良いものとして将来の世代に引き継いでいくために、循環と共生を基調とする持続可能な北海道を目指して、家庭や職場、地域において、環境に配慮した事業活動やライフスタイルの確立に取り組みます。

1 地球環境の保全

私たちは、地球温暖化の防止に向けて、温室効果ガスの排出量の削減をすすめます。

このため、日常生活や事業活動において、省エネルギーの取組や新エネルギーの利用などを進めるとともに、二酸化炭素を吸収する海・森林などの自然環境を守り・育てます。

2 3Rの推進

私たちは、限りある資源を大切にし、廃棄物等の処理に由来する環境負荷の低減をすすめます。

このため、資源投入、生産、流通、販売、消費、排出、処理・処分などの各段階において、3R（リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用））に取り組みます。

3 自然との共生

私たちは、自然との共生を基本として、自然環境の保全をすすめます。

このため、自然のすばらしさを理解し、きれいな空気、水、多様な野生生物など豊かな自然環境を守るとともに、みどりや水辺など、身近な自然とのふれあいづくりに取り組みます。

環境道民会議参加団体一覧（65団体）

令和5年4月現在

1	エコロジア北海道21推進協議会	28	(一社)北海道自然保護協会	55	(一社)北海道バス協会		
2	NPO法人 ezorock	29	北海道市長会	56	北海道百貨店協会		
3	循環(くるくる)ネットワーク北海道	30	北海道自動車処理協同組合	57	(一社)北海道ビルディング協会		
4	札幌市	31	NPO法人 北海道市民環境ネットワーク	58	北海道ボランティア・レンジャー協議会		
5	(一社)日本ガス協会北海道部会	32	(公社)北海道浄化槽協会	59	北海道木材産業協同組合連合会		
6	(一社)日本建設業連合会北海道支部	33	(一社)北海道商工会議所連合会	60	(公社)北海道森と緑の会		
7	(公社)日本青年会議所北海道地区協議会	34	北海道商工会連合会	61	北海道容器商業協同組合		
8	日本チェーンストア協会北海道支部	35	北海道商店街振興組合連合会	62	北海道林業協会		
9	(一社)日本鉄リサイクル工業会北海道支部	36	(一社)北海道消費者協会	63	(一財)北海道老人クラブ連合会		
10	(公社)日本包装技術協会・北海道支部	37	(一社)北海道食品産業協議会	64	道内報道機関		
11	日本野鳥の会札幌支部	38	北海道女性団体連絡協議会			新聞社	(株)朝日新聞社北海道支社
12	北海道環境カウンセラー協会	39	北海道スーパーマーケット協会				(株)北海道新聞社
13	(公財)北海道環境財団	40	北海道生活協同組合連合会				(株)毎日新聞社北海道支社
14	北海道環境整備事業協同組合	41	北海道製紙原料直納商業組合				(株)読売新聞東京本社北海道支社
15	(一社)北海道環境保全協会	42	(公財)北海道青少年育成協会			テレビ局	札幌テレビ放送(株)(STV)
16	(公社)北海道観光振興機構	43	(一社)北海道造園緑化建設業協会				(株)テレビ北海道(TVh)
17	(一社)北海道機械工業会	44	(一社)北海道測量設計業協会				日本放送協会札幌放送局(NHK)
18	北海道漁業協同組合連合会	45	(一社)北海道体験観光推進協議会				北海道テレビ放送(株)(HTB)
19	北海道グリーン購入ネットワーク	46	(公財)北海道地域活動振興協会				北海道文化放送(株)(UHB)
20	NPO法人 北海道グリーンファンド	47	(一社)北海道中小企業家同友会				北海道放送(株)(HBC)
21	北海道経済連合会	48	北海道町村会			ラジオ局	(株)STVラジオ
22	(一社)北海道建設業協会	49	(一社)北海道町内会連合会				(株)エフエム・ノースウェーブ
23	(公社)北海道交通安全推進委員会	50	(公社)北海道トラック協会				(株)エフエム北海道
24	(公社)北海道産業資源循環協会	51	北海道二輪車商業協同組合	65	北海道		
25	(一社)北海道市場協会	52	北海道農業協同組合中央会				
26	北海道自然観察協議会	53	北海道廃タイヤ事業協同組合				
27	北海道自然体験活動推進協議会(えぞCONE)	54	(一社)北海道ハイヤー協会				

団体名 50音順(※報道機関は各カテゴリーごと)

環境道民会議フォーラム2024

～世界のトレンド？知っておきたい！サーキュラーエコノミー（循環経済）～

世界各地で推進されているサーキュラーエコノミー（循環経済）をテーマにフォーラムを開催します。

フォーラムでは、環境省から国の最新の取組などについてご説明いただいた後、関連するファッションロス・フードロス削減について実際に取組を行っている団体の方からお話をいただくほか、講演者の方々によるパネルディスカッションを行います。

北海道の豊かで美しい環境を次の世代へ引き継いでいくため、私たち一人ひとりができることを一緒に考えてみませんか？みなさま是非ご参加ください！

※ サークュラーエコノミー（循環経済）…従来の3Rの活動に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動。資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生防止等を目指すもの。

日
時

2024年

2月13日（火）15:30～17:30

会
場

北海道立道民活動センター（かでの2.7）

札幌市中央区北2条西7丁目 大会議室

※ZOOMによるオンライン開催併用

定員
会場50名
オンライン50名
参加無料
要事前申込

Part1 講演

- ・環境省北海道地方環境事務所 資源循環課 課長補佐 **河邊 祐二 氏**

「循環経済への移行に向けた取組」

サーキュラーエコノミーの概要から、それが重視される背景、国や経済界の動向のほか、デコ活、motteco（モッテコ）など関連する最新の取組について説明します。

- ・特定非営利活動法人環境り・ふれんず 代表理事 **石塚 祐江 氏**

「桑園SDGs環境ひろばの取組～制服リユース・着物リユース～」

「ローカルSDGs」3Rで持続可能な循環型社会を目指す拠点として令和4年5月にオープンした桑園SDGs環境ひろばの取組を、制服・着物リユースの取組を中心に紹介します。

- ・一般財団法人北海道国際交流センター

プログラムコーディネーター **吉村 美悠 氏**

「ここに子ども食堂が取り組むフードバンク活動について」

同センターが取り組んでいるフードロスやフードバンクの取組の紹介のほか、国や北海道のフードロスの現状、サーキュラーエコノミーとの関連性について説明します。

Part2 パネルディスカッション

コーディネーター：循環（くるくる）ネットワーク北海道代表 **星野 武治 氏**

パネラー：上記講演者3名 ※変更の可能性あり

事前に参加者の皆様からいただいた質問を参考に、私たちができることなどについて、パネラーの皆様に意見交換を行っていただきます。

申込方法

裏面の参加申込書のメール送付又はQRコードを読み取り申込フォームから
2月6日（火）までにお申し込みください。

※環境道民会議とは…道民・事業者・行政が連携して、環境保全活動を進めるため、経済団体やNPO団体、道など計65団体で構成される組織です。

【お問い合わせ】北海道環境生活部環境保全局 環境政策課 [担当：小林]

TEL：011-204-5187（ダイヤルイン）月曜日から金曜日までの平日8:45～17:30

当日のスケジュール

2/13 (火) 15:30~17:30 (受付開始15:00)

15:00~15:30	会場参加者受付・オンライン参加者接続準備
15:30~15:40	主催者挨拶
15:40~17:00	講演
17:00~17:30	パネルディスカッション
17:30	閉会

留意事項

<申込時の留意事項>

- ・申込時、任意で講演者への質問を募集しています。いただいたご質問等についてはパネルディスカッションで取り上げさせていただくことがあります。また、当日取り上げることができなかつたご質問等に対する回答については、後日できる限り道のホームページで公表します。

<オンライン会議システム「Zoom」使用についての留意事項>

- ・お申込みいただき、参加可能となった方に、前日までにZoomの招待URLをお送りします。
- ・15時30分までに入室してください。
- ・お送りした招待URLをSNS等で公開することは固く禁じます。
- ・記録及び講演者の研究に役立てるため、全体を録画します。また、動画は後日道のホームページ上で公開する予定です。個人の顔や名前が表示される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・イベント中のZoomの取り扱いは、司会者の指示に従ってください。
- ・ネットの回線状況やWi-Fi環境により動作に支障がでる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・Zoomアプリケーションの利用に関しては、皆さまの責任においてご利用をお願いいたします。
- ・Zoomアプリケーションによる被害・損害等が発生した場合、当方では責任を負いかねますので、ご理解願います。
- ・質疑応答・意見交換については、Zoomのチャット機能もご利用いただけます。
- ・Zoomへの接続が途中で切断された場合は、最初に入室されたミーティングID、パスワードで再び入室してください。
- ・講演中は、画面共有により資料を表示するため、スマートフォンなど画面が小さい端末は見づらい場合があります。

参加申込書

申込先	北海道環境生活部環境保全局環境政策課 担当：小林	mail : kansei.kankyou1@pref.hokkaido.lg.jp
-----	-----------------------------	---

- 必要事項をご記入の上、**2月6日(火)までに、メール送付又はQRコードを読み取り申込フォームからお申し込みください。**

(メール申込の場合は、本文に下記必要事項をご記入いただいても結構です)

- 定員は会場50名、オンライン50名を予定しております。先着順となりますので、お早めにお申し込みください。



お名前		年齢	
ご所属		電話番号	
ご住所			
メールアドレス			
参加方法	会場 ・ オンライン ←どちらかに○をつけてください。		
講演者への質問事項			

※ お申込みにあたってお知らせいただいた個人情報は、本ミーティングの運営業務以外には使用いたしません。